

文久 三 一八五六 四 二 八五六 四八 渋谷藻 元 一八五六 四八 渋谷藻 田上北	二     六     五     四     三       二     一     一     一     一       八     八     八     八     八       五     五     五     五       五     九     八     八	一       一       一       一       一       一       八       八       八       五       五       五       五       五       元       九       八       二       九       八       二       九       八       二       九       八       八       二       九       八       八       二       九       八       八       二       九       八       八       二       十       八       二       十       八       二       十       八       二       十       八       二       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十       十	- 八	一 八 五 七 六 四 九	一 八 五 六 也 九 八	一 八 五 六 四 八	電信		安政元二八五四四六正日	六 一八五三 四五 三月	一 八五 二 四 四	嘉化 四一八五一 四三 一月 鶴丸	四一八四九四一この	嘉化 元 一八四八 四〇 箕作	四一八四七三九三月	三一八四六三八四月、	二八四五三七	弘化 元一八四四 三六 五月、7 一四一八四三 三五 一〇月、	一八八四二二三三四二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	  八 八 四 四	- 八 三 七 七 三 二 九	 八 八 八 三 三 三 三	一 八 二 九 二 一	カーハニ六 一八 三百	文政 四   八一二   一六 七月、   一八二二   一二 三月、	- 八 - 八 二 九 四 -	和暦西暦年齢	
四女典如脳里生、磯で反射炉(一号炉)の建設に着手、縦丸が 東京の、大元丸・水戸の、大元丸・大元丸・大元丸・水戸の、大元丸・大元丸・水戸の、大月、、京田内、代月、、京田内、代月、、京田内、代月、 京田 の地を日本の総船印にするように提案。 一日鹿児島着。五月、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建三 原原児出る。反射炉(一号炉)完成。一〇月、五女率姫誕生。二月大船等一五 出題原、日の丸を日本の総船印にするように提案。 一日鹿児島着。五月、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建一日鹿児島着。五月、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建一日鹿児島着。五月、琉球大砲船(京平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建一日鹿児島着。五月、琉球大砲船(京平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建一大元丸・水戸、大元丸・承天丸建造に着手。この頃、「いろは丸」完成。一一月、昇平丸竣工。『四光社会』『遠西奇器延』出版。木村嘉平、鉛活字製造着手。八月、幕府に大船建一、京気全快。八月、蒸気船雲行丸竣工。昇平丸を幕府献上。圓丸・万年丸・大元丸・大元丸・水戸館のまた。一月、江戸大地震、芝邸罹災、渋谷邸に移る。緒方庵・川本幸民らに、地関、日の丸を育た成功。四月三日江戸発、五月、四日鹿児島着。五月、昇平丸竣工。『四次社を育り、成臨丸入港、カツティンテーゲらに集成館なり、大田、東京に成功。四月三日江戸発、五月、「富国強兵」を勧める建白書を幕府に提出。七月八日、譲線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調線場で調	で長駒近(一号炉)の建設に着手、機鉱炉建設に着手、観丸切で長駒炉(一号炉)の建設に着手、機鉱炉建設に着手、銀丸切に回える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月二日江戸発、六女に迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月二日江戸発、六女に迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月六日江戸発、六次に迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月六日江戸発、六大元丸・ら病臥。反射炉(一号炉)不調、二号炉建設命じる。鳳端丸・ら病臥。反射炉(一号炉)不調、二号炉建設命じる。鳳端丸・ら病臥。反射炉(一号炉)不調、二号炉建設命じる。鳳端丸・ら病臥。反射炉(一号炉)不調、二号炉建設命じる。鳳端丸・方に指導、芝邸罹災、渋谷邸に移る。緒方庵・川本幸民らににガラス工場創設。郡元水車館創設(搾油)。 「世別の。四月三日江戸発、五月二四日鹿児島着。五月、屋射炉(二分で「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、磯の工場群を「九を「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、磯の工場群を「九を「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、銀板写真撮が、家定の元へ嫁ぐ。 「一日、高臨丸入港、カツティンデーゲらに集成館ない。長崎海軍伝習所に藩士派遣。水軍隊創設。郡元水車館高設(搾油)。 「一日、調練場で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者で調練者	で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	<b>三日鹿児島発、一○月九日江戸着。騎兵隊創設。</b> 三日鹿児島発、一○月、六月正四日鹿児島着。五月、日子人英、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕府に大船建い。一号炉)完成。一○月、五女寧姫誕生。二月大船等一五本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 月六日江戸着。七月、熔鉱炉完成。一二月、幕府に大船建立。 一号炉)完成。一〇月、五女寧姫誕生。二月大船等一五本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総別印に着手。 の工場群を「四日鹿児島着。五月、同本中に提出。七月、五本の総別印に著一、の建設に着手。 の工場でに、 本のに、、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本のに、 本の	『を「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、銀板写真撮行を「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、銀板写真撮行を「開物館」と命名。九月、ペリー艦隊那覇来航。五月、日江戸発、六元丸・高田江戸着。七月、熔鉱炉完成、製鉄に成功。閏七月、五本の総船印にするように提案。 「一号炉」完成。一○月、五女寧姫誕生。二月大船等一五本の総船印にするように提案。 「一号炉」元成、一○月、五女寧姫誕生。二月大船等一五次(一号炉)完成。一○月、五五字院、製鉄に成功。閏七月、五二十八日江戸着。七月、熔鉱炉完成、製鉄に成功。閏七月、五次にガラス工場創設。郡元水車館創設(搾油)。 「一号炉」の建造に着手。八月、幕府に大船建にガラス工場創設。郡元水車館創設(搾油)。 「一号炉」の建設に着手。 「四月三日江戸発、五月二四日鹿児島着。五月、日江戸発、六元丸・京田江戸発、五月二四日鹿児島発、一〇月九日江戸着。騎兵隊創設。郡元水車館「大船東下、一日江戸発、六元丸・三田鹿児島発、一〇月九日江戸着。騎兵隊創設。郡元水車館創設(搾油)。	台でガス灯を試み、のち仙巌園に点す。八品でガス灯を試み、のち仙巌園に点す。八品である。 一号炉)完成。一〇月、五女寧姫誕生。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船のに着手。 が、元対の連続に着手。 が、元対の連続に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。 を証に着手。	で、家定の元へ嫁ぐ。 で、別が、(一号炉)の建設に着手。 熔鉱炉建設に で、現が、(一号炉)の建造に着手。 八月、幕で 一号炉)完成。一〇月、五女寧姫誕生。二月、 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船印にするように提案。 本の総船のにするように提案。 本の総船のにするように提案。 本の総船のにするように提案。 本の総船のに着手。際銀に入り、 を注意に着手。 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	にガラス工場創設。郡元水車館創設(搾油)。 門大地震、芝邸罹災、渋谷邸に移る。緒方庵・川戸大地震、芝邸罹災、渋谷邸に移る。緒方庵・川戸大地震、定財炉(一号炉)不調、二号炉建設命じ月六日江戸着。七月、熔鉱炉完成、製鉄に成功。本の総船印にするように提案。本の総船印にするように提案。本の総船印にするように提案。 三日鹿児島発、一〇月、五女寧姫誕生。二月、幕で迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月二日、京山市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川市、京川	器延』出版。木村嘉平、鉛活字製造着手。 「三月、日江戸着。七月、熔鉱炉完成、一二月、昇平月から病臥。反射炉(一号炉)元湖、二号炉建設命じた日本の総船印にするように提案。と日本の総船印にするように提案。と日本の総船印にするように提案。「三月、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕に入り、流球大砲船(昇平丸)の建造に着手。騎兵隊創設。「八月、日」のは、「八月、八月、八月、八月、一日」のは、「八月、一日」のは、「八月、一日」のは、「八月、一日」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月」のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)のは、「八月)の	<b>を日本の総船印にするように提案。</b> 区射炉(一号炉)完成。一○月、五女寧姫誕生。二月大船等五月、琉球大砲船(昇平丸)の建造に着手。八月、幕府に大を養女に迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月二日江戸月二三日鹿児島発、一○月九日江戸着。騎兵隊創設。 磯で反射炉(一号炉)の建設に着手、熔鉱炉建設に着手、	月二三日鹿児島発、一〇月九日江戸着。騎兵隊創設。「磯で反射炉(一号炉)の建設に着手」炮鉱炉建設に着手」	ロても、登記では、後にて対し、一点の一つをできます。 多なられる こうしゅう		訳『水蒸気船説略』完成。一二月お遊羅騒動勃発。この頃、写真研究に着手。閏四月、五男虎寿丸誕生。六月四男篤之助死去。九月、箕作阮甫	三月、薩摩藩家老調所広郷自殺。 箕作阮甫に蒸気機関の書籍翻訳依頼。五月、次男寛之助死去。二月、四男篤之助誕生。	五日鹿児島発、五月一○日1月1日 1月1日日日日 1月1日日日	、七月二五日鹿児島着。万・中村製薬館創設。斉彬、琉球外交問題処理のため帰国を命じられ、六月八日江万・中村製薬館創設。斉彬、琉球外交問題処理のため帰国を命じられ、六月八日江、イギリス艦那覇に来航、通商要求。斉興、	イギリス艦那覇に来	、フランス軍艦那覇に来航、通商要求月、イギリス琉球八重山で測量強行。	御		次女邦姫誕生。ン号、浦賀・鹿	_	長男菊三郎誕生(同年早世)英姫と結婚	重豪・奥平昌高らとともに大森でシーボルトらと出会う。	母周子死亡。二月、将軍家家斉から加冠を受け斉彬と改名。宝島でイギリス人が牛を強奪、イギリス人一人射殺。元服し又三郎忠方と改名。	_	島津斉彬に関する主な出来事	島津斉彬関連年表
三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 一〇月、中日 一二月、下田条約調印 一二月、下田条約調印 一二月、下田条約調印 一二月、京定没。九月、家定将軍就任。 一二月、家定没。九月、家定将軍就任。 一二月、家定没。九月、家定将軍就任。 一二月、家定没。九月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。 一二月、家定将軍就任。	三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、下田条約調印 五月、下田条約調印 五月、下田条約調印 七月、家定没。九月、家定将軍就任。 一日米修好通商条約締結。紀州家徳 七月、家定没。九月、家定将軍就任。六月、 日本で、1月、 1月、 1月、 1月、 1月、 1月、 1月、 1月、 1月、 1月、	<ul> <li>六月三日ペリー艦隊浦賀来航。将軍家慶死去、一○月、家茂将軍就任。</li> <li>二月、日米和親条約締結。</li> <li>二月、下田条約調印</li> <li>六月、阿部正弘死去。</li> <li>七月、家定没。九月、安政の大獄出慶福(家茂)将軍継嗣となる。</li> <li>七月、家定没。九月、家茂将軍就任。</li> <li>一○月、家茂将軍就任。</li> </ul>	二月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、日米和親条約締結。 三月、下田条約調印 五月、下田条約調印 五月、下田条約調印 七月、家定没。九月、安政の大獄 七月、家定没。九月、安政の大獄 ・	<ul><li>六月三日ペリー艦隊浦賀来航。将軍家慶死去、一○月、家定将軍就</li><li>五月、下田条約調印</li><li>六月、阿部正弘死去。</li></ul>	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 月 、 日 米 和 知 一 月 、 下 田 条 約 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	アメリカ総領事 一	一	三月、日米和朝三月、日米和朝	_			中国で太平天国の乱起こる				浦賀に来航、通商要求閏五月、アメリカ使節ビツドル、		大月   老中になる		五月,幕府天保の改革に着手。  アヘン戦争勃発(~四二)。	二月 大塩平八郎の乱。			す。 二月、幕府異国船打ち払い令を出	(大津浜事件)。 五月、イギリス人水戸藩領に上陸		主な出来事	